



ツンドク

2020年7月発行 第7号

発行：市立名寄図書館

名寄市大通南2丁目 ☎2-4751

開館時間のご案内

本館 * 火・金・土・日	9:30~17:00
水・木	9:30~19:00
分室 * 月~金	9:30~17:00
土	9:30~13:00

『ツンドク』という名前には「本がどんどん積読（つんどく）になるくらいおもしろい本を紹介します」という気持ちが込められています。

こんにちは、市立名寄図書館です。今年度のツンドクは7月、11月、3月の発行になります。

今年はコロナウィルスの感染拡大で、連休の旅行を自粛したり、学校が休校・分散登校になるなど今までとは違う生活になりました。



約100年ほど前にも「スペインかぜ」が世界中で流行し、大勢の人が亡くなっています。そのとき日本の政府は、マスク・うがいをするようにポスターを貼り、人がたくさん集まる劇場や映画館、公共交通機関の利用を控えるよう通知を出しました。日本でマスクの使用が広がったのは、このころからだそうです。

また、破傷風の予防や治療方法を開発した「日本細菌学の父」と呼ばれる北里柴三郎は、生活環境をよくすることによって感染症は予防できると気づき、1885年に長崎で流行した「コレラ」を、患者の隔離や予防指導により抑えることに成功しています。距離をとる、手を洗う、咳エチケットなど「新しい生活様式」が、日本でわりとすぐに広がったのは過去の経験や、功績が大きいのかもかもしれませんね。ちなみに北里柴三郎は、2024年前半に発行される新千円札の肖像画にもなっています。



📖 「北に生きる猫」展

8月4日~23日の間、名寄図書館1階閲覧室で「北に生きる猫」展を開催します。

北海道出身の写真家・土肥美帆さんの写真集『北に生きる猫』（河出書房新社）のパネルを展示します。そこで、みなさんから送ってもらった愛猫の写真とすてきなエピソードを紹介する「我が家の猫自慢」コーナーを設置します。写真（L判）に、猫のお名前・性別・年齢・100字程度のエピソードを添えて、7月30日までに図書館に持参もしくは郵送してください。（写真の返却はできませんのでご了承ください）
おうちで飼っているかわいい猫の写真をお待ちしています♪



📖 星に願いを…夜空を見上げてみませんか？



夏の夜、ほんのひとときでも星空をながめてみませんか。

8月12日ごろの「ペルセウス座流星群」は、1時間に30~60個くらいの流れ星が見られるそうです。

ところで、流れ星の正体って何なのでしょう？星ではなくて宇宙を漂う「チリ」なんだそうです。ロマンチックなイメージとはほど遠いですが、人びとは昔から流れ星に願い事をしていました。西洋では、流れ星は神さまが天から地上をのぞいたときにもれる光だと考えられていたからです。神さまに直接願い事を聞いてもらえるチャンスというわけだったんですね。また昔の日本の書物には、流れ星が雷のような音を発しながら落ちたところに狗のようなものがいて、それが天狗だと記されています。じつは名寄市のマスコットキャラクター「なよろう」も、天の川から落ちてきた隕石（流れ星）なんですよ。

今回のテーマ別おすすめ本は「燃える！萌える？部活動」です。

「世界を切り取る秘密兵器！」



『世界でいちばん長い写真』
菅田哲也 // 著 光文社 2010年
Y913.6/ホ ヤングアダルト

撮りたいものがわからない。好きなものも特にない。本気で楽しめるものを持っている周りの人たちの姿に、なんとなく焦る。そんな冴えない写真部の僕がおじいちゃんの古道具屋で見つけたゴツくて大きい不思議なカメラ。それは、360度回転しながら長い長い写真が撮れるカメラで…。明るく前向きな気持ちになれる青春小説。モデルとなったカメラは実在していて、ギネス記録にもなっています。

「本当の自分をさらけ出せ！」



『リリース』
草野たき // 著 ポプラ社 2010年
Y913.6/ク ヤングアダルト

中学2年の明良は弱小バスケット部のキャプテン。バスケット部は人気だけど、試合に勝てないつまらなさに半数がやめていく。残る部員はやる気や向上心がない。こんなメンバーの中でも明良はプロのバスケットボール選手を目指し、日々勉強と練習に励んでいる。そんな夏、家族や部活で問題が発生！リリースとは「義務や不当な束縛から解放する」という意味だ。本心をさらけ出した後の家族、そして仲間との絆を描いた青春小説を読んでみて！

「温泉県大分からの発信。」



泣けて笑える、シンフロ！」



『ゆけ、シンフロ部！』
堀口泰生 // 小説 青木俊直 // 絵
学研プラス 2018年 91/ホ 児童
シンフロを温泉で演じるシンフロ部。

廃部になってしまった実城高校にもう一度、創部をしたい！トラウマとコンプレックスに満ちた1年生、伊野遥が、同好会の超個性的なチームメイトを引っ張っていく。憧れの有彩先輩の言葉を胸に、何が遥をつき動かすのでしょうか？思いがけない展開に、あなたの胸も熱くしてみませんか？



「短歌は心の格闘技！目指せ短歌甲子園!!」



『うたうとは小さいのちひろいあげ』
村上しいこ // 著 講談社 2015年
Y913.6/ム ヤングアダルト

毎日の生活で感じる、喜怒哀楽のあふれた感情を5・7・5・7・7で詠んだのが短歌です。共感できる短歌は、まるで自分のことを詠んだのかのように、心にグッときます。思いがけず「うた部」に入ることになった主人公の桃子と一緒に、千年以上も続く短歌の言葉の力を感じてみてください。



「チャラそうに見せかけて実は深い！」



『桐島、部活やめるってよ』
朝井リョウ // 著 集英社 2010年
Y913.6/ア ヤングアダルト
スクールカースト上位かつ男子バレー部キャプテンの桐島が突如、謎の退部。「え、ガチで？」これを発端

に田舎の県立高校のバレー部・野球部・ソフトボール部・吹奏楽部・映画部などの男女に波紋が広がる。体育会系がイケてて文化系ってイケてない!?いやいやこれを読めば何が大切な事なのかきっとわかる。お気楽そうに見えても、みんなそれぞれいろいろなものを抱えながら生きている。小説すばる新人賞受賞作。2012年映画化。

「一人ぼっちのひと、歓迎します！」



『家元探偵マスノくん
一県立桜花高校★ぼっち部』
笹生陽子 // 著 ポプラ社 2010年
Y913.6/サ ヤングアダルト
病欠で高校デビューに失敗した女子高生のチナツは、次期家元・マスノくんが部長を務める「ぼっち部」に、おやつ要員として入部することに。そこは、探偵、戦士、女優、そしてネットごしのスカイプさんという、強烈な個性の集まりでした。協調性はないけど協力的な、ぼっちになつて者同士が日常系ミステリーを解決！人間関係に悩んだ時に読んでみたら、少し前向きな気分になれるかも？